

指導の狙い

文の構成を理解し、目的や意図に応じて複数の文を一文にする。

課題の見られた問題の概要と結果

A7 新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く。正答率：43.7%
〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと
ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

学習指導要領における領域・内容

A7では、一文の意味を理解したり、必要となる事柄を整理したりすることにつまずいているようですね。



教師

授業アイデア例

例1 は本問題を活用して指導する例

例2 は出題の趣旨を踏まえ単元化して指導する例

例1 主語と述語との関係や修飾と被修飾との関係を押さえながら、四つの文を一文にする。

〔全1時間 対象：第3学年以上〕

- 1 文の定義を確認し、教師が提示する数例の文の構成について話し合う。
 - 主語と述語との関係を捉える。
 - 修飾と被修飾との関係を捉える。

- 2 A7の問題のリードの内容を踏まえ、〔取材した内容の一部〕の四つの文のそれぞれの構成や文と文との関係について話し合う。

- 3 教師が提示した【四つの文を一文にした例：▲】を改善する方法について話し合う。

- 4 「本校合唱部が」を主語にして四つの文を一文にする。
 - 「本校合唱部が」という主語を文頭に置いて一文で書く。(■)
 - 「…出場した本校合唱部が」のように主語を修飾して書く。(◎)

- 主語には——を、述語(述部)には——をそれぞれ引きましよう。
- 指示語を○で囲みましょう。
- くり返されている言葉を――で囲みましょう。
- 大事な語句にマーカーを引きましよう。

合唱コンクールの県大会が、七月一日に開かれた。
そのコンクールに、第三小の合唱部が出場した。
第三小の合唱部は、そのコンクールで金賞に選ばれた。
第三小の合唱部は、来月開かれる全国大会に出場することになった。

七月一日、合唱コンクールの県大会に出場した。本校合唱部が、金賞に選ばれ、来月開かれる全国大会に出場することになった。
主語を修飾すると…
「そして、そして」という表現が二回続いている。

合唱コンクールの県大会が、七月一日に開かれ、そのコンクールに、第三小の合唱部が出場して、金賞に選ばれて、来月開かれる全国大会に出場することになった。
文頭に「本校合唱部が」という主語を置くと…
「そのコンクール」は重複する言葉だから省略してもいい。
「そして、そして」という表現が三回続いている。

〔取材した内容の一部の四つの文〕〔四つの文を一文にした例〕

例2 書きたいことの中心をベン図を用いながら明確にして、新聞のリードや見出しを書く。

〔全5時間 対象：第3学年以上〕

第一次（1時間）

- 1 家の人に学校の様子を伝えるために、学習課題「一学期の行事を学級新聞に書こう」を設定し学習計画を立てる。
 - 子どもも新聞を参考にして、見出し、リード、本文それぞれの記述の特徴を調べる。

単元を貫く言語活動

【見出しの特徴】

- ・ 助詞がない場合がある。
- ・ 文末が省略されている場合がある。
- ・ 10字程度で簡潔に書かれている。

【リードの特徴】

- ・ 5W1Hで構成されている。
- ・ 主語を修飾する言葉が長い。
- ・ 一定の結果や結論まで書かれている。
- ・ 一文が40字程度で書かれている。

第二次（3時間）

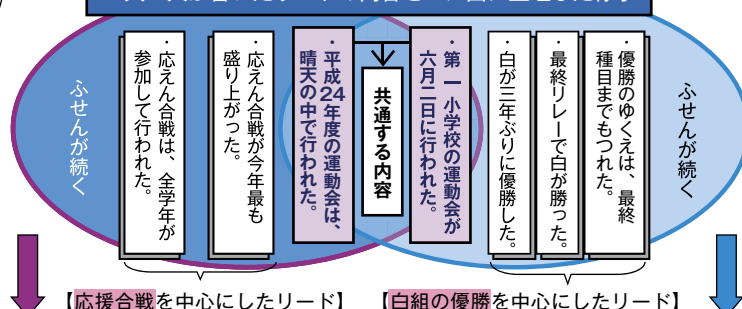
- 2 グループごとに記事にする行事について取材する。
- 3 リードに書く内容や表現の仕方を話し合う。
 - グループの一人一人が、リードに書く内容を考え、それを一文にしてふせんに書く。(一人2~3枚)
 - ふせんの中で共通する内容を取り出し、それをカードに整理し、ベン図の中央に置く。その他の内容については、ふせんを使ってまとまりに分け、ベン図の外側に置く。
- 4 ベン図の中央に置いた内容は必須とし、一人一人が書きたいことの中心を明確にしてリードを書く。
 - リードに合わせて、見出しを10字程度で書く。

第三次（1時間）

- 5 書いたリードや見出しを交流し、書きたいことの中心が明確に伝わるかどうかを相互評価する。

新聞のリードや見出しを書く

一人一人が書いたリードの内容をベン図に整理した様子



【応援合戦を中心にしたリード】
六月二日、晴天の中で行われた平成24年度第一小の運動会では、全学年が参加して行われた応援合戦が、赤白ともに大いに盛り上がった。

【見出し】
「声の限りに 応援合戦」

【白組の優勝を中心にしたリード】
六月二日、晴天の中で行われた平成24年度第一小の運動会では、優勝のゆくえが最終種目のリレーまでもつれた結果、三年ぶりに白組が優勝を手にした。

【見出し】
「白組 三年ぶりの優勝」

留意点

小学校学習指導要領解説国語編では、「B 書くこと」の指導事項の〔第5学年及び第6学年〕において、「ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」を設定している。特に、文の中における主語と述語との関係や、修飾と被修飾との関係などを押さえながら、目的や意図に応じて文を分析的・統合的に捉えるように指導することが大切である。